

認定番号：31 サポーター名：大日本ダイヤコンサルタント株式会社

▶実施内容の分類：流域治水に関する広報資料の配布・掲示、アナウンス等

 取組
実績

目的

流域治水の取組みをより多くの人に親しみをもって知ってもらう。

内容

■ロゴマーク※を名刺やヘルメットに印刷

※公益社団法人日本河川協会の会員組織「”とやま”川の会」（当社事務局）では、富山独自のロゴマークを富山河川国道事務所、富山県河川課等の指導のもと作成し、その活用を図っている。

ポイント

- ・名刺、ヘルメットを活用することで、より多くの人々が流域治水のロゴマークを見る機会が増える。
- ・富山独自のロゴマークとすることで、流域治水の取組について、地域住民・企業等が理解し、親しみを持ってもらう。

問い合わせ先

大日本ダイヤコンサルタント株式会社 北陸支社 国土保全計画室



認定番号：31 サポーター名：大日本ダイヤコンサルタント株式会社

▶実施内容の分類：各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介

取組
実績

目的

流域治水の取り組みをより多くの人に知ってもらう。

内容

■令和6年11月14日 岐阜県庄川の災害の記憶をたどる学習会「現地研修会」を運営。

過去の河川災害（昭和9年7月水害）について学生や教員を対象に、
現地の状況を見ながら河川・洪水の特徴や周囲の地形を学ぶ学習会を行い、
流域治水による今後に備えた防災・減災に関する意欲を啓発

■令和7年7月26日 富山駅構内で開催された、「ともに考え、つながる流域ぷらっと フォームシンポジウム」に運営補助として参加（業務として対応）

体験を含めて流域治水に接する場を設けることで、流域治水に対する理解をより深めるブースを
展示した。

ポイント

- ・過去の災害経験を通して、流域治水の大切さを知ってもらう。
- ・家族、友人と一緒に参加することで、楽しみながら流域治水を知ることができる。

問い合わせ先

大日本ダイヤコンサルタント株式会社 北陸支社 国土保全計画室



認定番号：31 サポーター名：大日本ダイヤコンサルタント株式会社

▶実施内容の分類：各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介

取組
実績

目的

流域治水の取り組みをより多くの人に知ってもらう。

内容

■令和7年7月7日 富岩運河環水公園で行われた「水辺で乾杯」を運営。

普段から水に接する場を設けることで、住民を含めた多くの方に対して流域治水に関する意識や連携性の向上を促進。

ポイント

- ・公共事業関係者、地域住民など、多数の参加者のコミュニケーションの場となることで、流域関係者の連携がしやすくなる。
- ・水に対する意識向上を図る。

問い合わせ先

大日本ダイヤコンサルタント株式会社 北陸支社 国土保全計画室

